



2023年 10月

10月の季語と俳句

木犀 (もくせい)
 紫式部 (むらさきしきぶ)
 七竈 (ななかまど)
 檸檬 (れもん)
 珊瑚樹 (さんごじゅ)
 烏瓜 (からすうり)
 楓 (かえで)
 みせばや



竹藪に
たけやぶ

ひとおと

人音しけり
からすうり

からすうり

広瀬惟然
ひろせいぜん

庭仕事のコツ

⑨苔を張る 【苔】は庭の風情を演出してくれます。

苔は、市販のものを使っても良いですし、
 庭に生えているものを移植することも可能です。
 庭の苔をはぎ取る場合には、土を1cmほど残すようにして下さい

- ① 植える場所は掘り起こし、石や草などは取り除く、土の塊は砕いて均す
- ② バケツに水を張り、剥がした苔を水につけ、含ませる
- ③ 水を含んだ苔を、押し付けるように土の上に置く
- ④ 土と密着させながら、隙間なく敷き詰めていく
- ⑤ 仕上げに軽く灌水する



苔管理のポイント

苔は空気中の水分で育つため、灌水をこまめにして湿度を保つこと

クイズ

動物の名前が入る植物②



下記にある写真の植物は、名前に動物名が入っています。
空欄に入る動物の名前を一覧から選んでみましょう。

- ①リュウ ②エレファント（ぞう）③ネコ ④キリン ⑤タコ ⑥タヌキ ⑦ウサギ ⑧カンガルー

Ⓐ



〇〇〇〇〇・ポー

Ⓑ



〇〇ノヒゲ

Ⓒ



〇〇〇〇〇〇イヤー

Ⓓ



〇〇〇マメ

Ⓔ



ハナ〇〇〇

Ⓕ



タマ〇〇〇

Ⓖ



〇〇ノアシ

Ⓖ



〇〇〇コケ

知識 月と植物

月の満ち欠けに動物が影響されるというのは、有名な話です。ウミガメの産卵が代表的な例ですね。その理由は、動物の身体のほとんどが水分で出来ているから。つまり、植物も同じです。

さて、今よりまだ、化学も科学も発展していなかった時代、人々は理由を知らずとも月の力を信じ、月の満ち欠けを目安に農作業を行っていました。今回は、その方法を少しご紹介しましょう。まずは、旧暦について↓

旧暦(新月から次の新月までが一か月となる)

新月→満月→新月



土づくり開始

満月

引力が強くなる
(月と太陽の引力の向きが同じになる)

新月

葉肥え

葉や茎、根などの栄養成長が盛んになる時期

新月

満月

引力は月と太陽両側からはたらく

新月

新月

月の満ち欠け農法



種まき

満月の五日前から満月の間まで
※上弦の月から満月までの期間、樹液が上昇する

実肥え

開花、結実など生殖成長が盛んになる時期
花や実の糖度が高くなる